

# 未来通信

Vol.2

## 東串良未来研究室

まちと自分の暮らしの未来を描く  
いま、できることから始める

**未来作戦会議**を開催しています！  
まちと自分の現在地を再確認し、理想の未来像について語り合う場です！  
対話を通じて、これからの暮らしをより良いものにしていくための作戦会議です。

## ケースブック「みんなの暮らし未来図鑑」のご紹介！

身近な困りごとやまちの課題から、どんな理想の未来像を描き、その実現に向けた一歩を歩んできたか、それらがどのように周囲や地域全体へ広がっていったかについて、県内事例をまとめました！



みんなの未来暮らし図鑑

各事例についてトピックをアイコンで表示！

- 01 穎娃
- 02 鹿児島市
- 03 美山
- 04 湯之元
- 05 甕島
- 06 出水
- 07 始良
- 08 横川
- 09 肝付
- 10 奄美



01 南九州市 穎娃町  
タツノオトシゴハウス / 隠れおこま舎 / オコソコ 加藤潤也

はじめはこうだった → こんなまちになってほしい

- 移住(1ターン)後、本業の観光施設にお客さんが来ない
- 地業はあるが、観光雑誌に無視されていたまち

「景色のきれいな観光適地を観光地に」  
「いつまでも住みたいと思える魅力あるまちをつくる」

このようにまちへひろがっていった

- 1 始めに撮影スポットなる種を地元の人が手弁当で設置
- 2 低予算のイベントやマップで公園の発信と実践的な活用
- 3 新聞等に掲載、行政の目にも留まり、公園の本格整備へ

1 商店街の活気を取り戻すためまずは古民家の片付けから- 2 大学生と連携し自分達で改修、電気水道トイレ無しの門出！
- 3 交流が増え、町外からも参加、移住者を迎える空気感に

point

- ①大きなことより、まずは小さな実践から始める。
- ②メディアでの発信、知ってもらえば始まる。
- ③行政マンを仲間、計画段階からの関与が大事。

日々の困りごとやまちの課題と理想の未来像

理想の未来の実現に向けた取り組み・展開とポイント

ケースブックに掲載させていただいている各地域の方々には、作戦会議にもオブザーバーとしてご参加いただいています！

人口減少により、地域社会の存続への危機感が生まれる中、これからは行政や住民の方が一体となって、諸課題に取り組んでいく必要があります。この作戦会議がその場になってほしいと思っています。

企画課 安松さん

未来について考えるというのは、本来「今日よりも楽しくて幸せな明日」について考える、とても前向きで楽しいことのはずです。否定ではなく肯定、分断ではなく対話が存在する地域に、元気と未来があるのだと思います。

地域おこし協力隊 山田さん

## 町役場担当者の声

9/17  
18:00-20:00

第2回  
作戦会議  
を実施!

ほっこりとみんなとお話ができ、これからのまちの可能性にワクワクしました!

Eさん  
(30代女性)  
町議員、看護師

みんなの考え方に触れられて面白く、色々と考えさせられることがあった!

Fさん  
(30代男性)  
役場職員

自分の夢の話をできて嬉しかった! みんなも幸せを求めている、東串良のために一緒に進みたい!

Gさん  
(60代女性)  
女性消防団員

考え方は違えど、思うところはみんな一緒なんだと感じた! 遊び心や楽しむことが大事と知った。

Hさん  
(40代男性)  
農家

参加者の声

Eさんの未来シナリオ

他の参加者からの声



ここだからできることを、さいごまで、みんなで作りたい!

ワクワクが足りない、つながりが少ない、同じこと(前なら)は嫌!

現状

STEP1

足を運んで、東串良のよい所や思いを知ってもらう  
古墳など歴史・文化的なものが見つけよう

STEP2

地元を巻き込みながら、地道に活性化に取り込む  
神社や伝統的な踊りとつなげる

STEP3

楽しんで、笑顔になるような催しをする  
東串良でしかできない観光を皆で進める

理想の未来像

東串良の良さを知って、住み良いまちのために、という考えを持った人が増えてくると良いな!

地域の繋がり、思い出の場所ができるとう良いな!

どんなまちも魅力はある!そこに遊び心を持たせることが大事!

Fさんの未来シナリオ

他の参加者からの声

私も孫が町内にいます! 父親の優しさが伝わってきた!



子供が大人になっても町内に住んで欲しい! できれば孫も町内に!

理想の未来像

子供が地元を思い出して帰ってきたいと思えるように、まずは自分たちが楽しそうな暮らしをすることが大切だと思う!

日々、幸せを感じている

現状

STEP1

ここで育ったという思い出をつくる

STEP2

親との思い出が沢山できるように、色々なことを一緒に!

STEP3

親を大好きに!

他の参加者からの声

一人で解決できなくても、みんながお互いに寄り添えることが大事だと感じた!

働くという視点だけでなく、自分らしくなれる、誰かに会える場や遊びができると良いかも!

若い人がお年寄りのこと(顔・名前・特技など)を知ってもらうための工夫も面白いかも!

Gさんの未来シナリオ



地域・集落で助け合い、みんな楽しく生活できるようにって欲しい!

元気なお年寄りが多いが、行く場所がない人が多い(独居)

現状

STEP1

独居老人や助けが必要な人に寄り添ってける場所を提供する

STEP2

お互い依存するのではなく、それぞれが得意なことで助け合う(教える・作る)

STEP3

それが収入になれば、生きがいに繋がり、長生きしたいと思う

理想の未来像

一人で解決できなくても、みんながお互いに寄り添えることが大事だと感じた!

働くという視点だけでなく、自分らしくなれる、誰かに会える場や遊びができると良いかも!

若い人がお年寄りのこと(顔・名前・特技など)を知ってもらうための工夫も面白いかも!

Hさんの未来シナリオ

他の参加者からの声

近隣の宿と連携した農業体験、他業種の若い個人事業主の副業など、色々な視点がありそう!

人柄的にもSNSで発信していくのは良いと思う!

農福連携の取組みで、規格外の野菜を提供する代わりに繁忙期に働いてもらうのもあるかも!



いつでもヘルプを出せば、欲しい人数だけ、働き手が確保できるようにしたい

理想の未来像

働き手がなかなか見つからない

現状

STEP1

身の回りの(引退された)方や関係機関に相談する

STEP2

都市圏との働き手マッチングサービスを活用する

STEP3

SNSで自分が農業を楽しんでいる様子を発信してファンを増やす